



広域広報

# おきたま

No. 41

平成21年(2009年)

8/15



## 東洋のアルカディア

イギリスのイザベラ・バードは、当時としては珍しい女性旅行家で世界中を旅し、明治十一年（一八七八）七月に北日本を旅しているとき、置賜の美しく豊かな農村風景を見て「東洋のアルカディア（理想郷・桃源郷）」と評したのでした。

バードは、六月に東京を出発し、日光・新潟・小国を経て諏訪峠を越え、一か月余りを掛け七月十四日に川西町に到着しました。爽やかな季節のなか、荒れた地もなく、よく耕やされた農地に多くの作物が成長している光景に感激し、「鋤で耕したというより鉛筆で描いたように美しい」また「実り豊かに微笑する大地」と称賛しました。

それから二十一年後、ようやく置賜まで鉄道が整備され、交通網が格段に発達して容易に訪れることができるようになりました。昔から旅人にも称賛され、多くの歴史が残る、そんな素晴らしい置賜に住んでいる私たち。十三回目を数えるシリーズ「置賜再発見」では、今回のテーマを「置賜の鉄道」として、四、五ページに掲載しています。

平成二十二年四月より

**ごみ袋の形状と値段が  
変更になります。**

三ページに詳しく掲載しています。

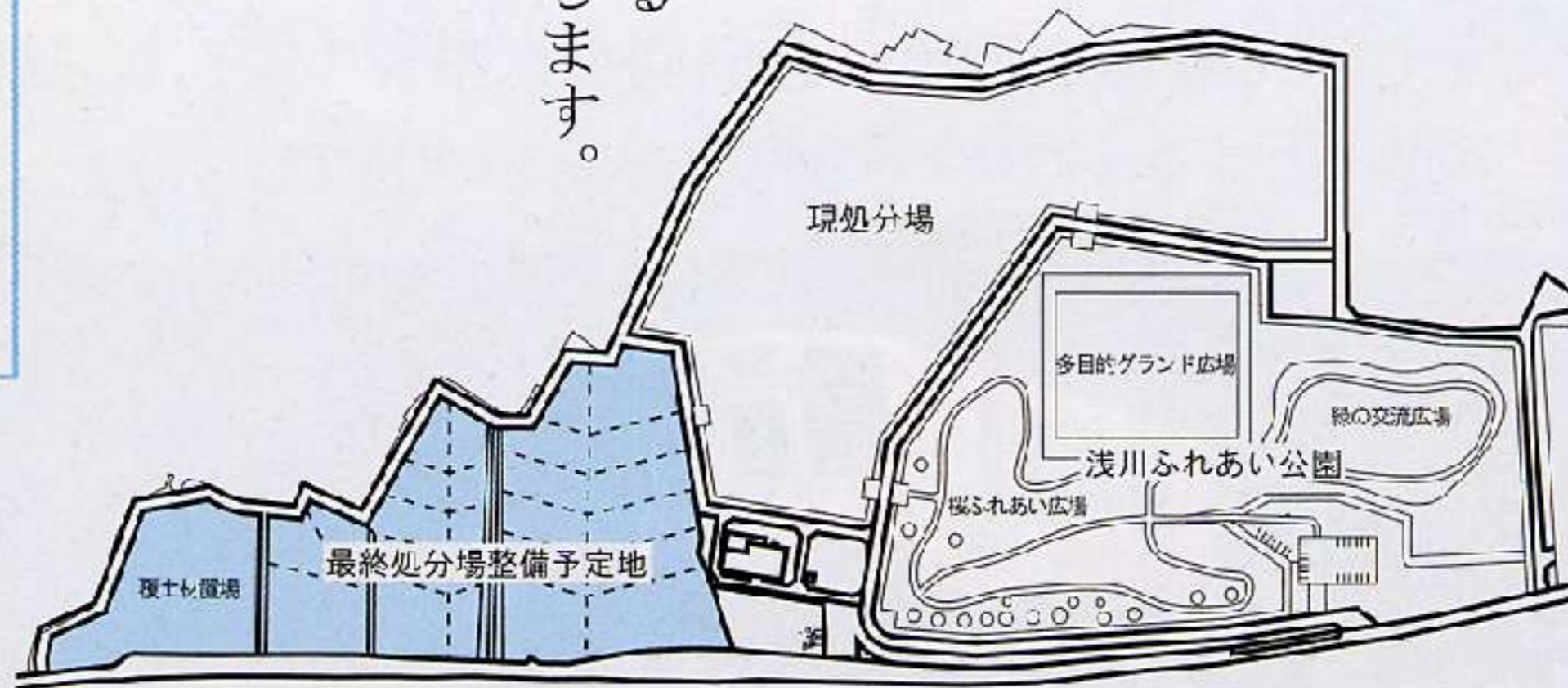
浅川最終処分場整備事業

置賜三市五町の家庭から出されたごみの中で、燃やせるごみは、千代田クリーンセンターのごみ焼却施設、燃やせないごみは、長井クリーンセンターの粗大ごみ処理施設でそれぞれ処理されますが、燃やしたあとの灰やガラスなどの細かいクズは、米沢市浅川にある埋立地（最終処分場）に埋められます。

現在の埋立地は、平成五年から埋め立てを開始しましたが、平成二十三年で満杯となるため、隣に新しく平成三十年まで埋め立てできる埋立地を計画しており、本年度から工事に着手します。

《工事概要》

- ◆埋立面積 二〇、七七〇平方メートル
- ◆埋立容積 八九、二三〇立方メートル
- ◆埋立年度 平成二十三～三十四年度
- ◆浸出水処理施設 延命化対策



浅川最終処分場計画図

千代田クリーンセンターアクセス道路整備

千代田クリーンセンターと湯るつとまでの道路は、米沢方面から進入すると、堤防を利用した狭い道路であるため、安全で便利な道路が欲しいという要望がありました。

本組合では、地元高島町に協力をお願いし、関係機関との検討を重ねた結果、対面通行ができる二車線の道路に拡幅することになりました。

この道路は、高島町道とする必要があるため、工事を高島町にお願いし、平成二十一年及び二十二年度の二か年で行います。本年度は、調査、測量及び設計業務と工事の一部を予定し、来年度中の開通を目指します。

湯るつとがオープンしました

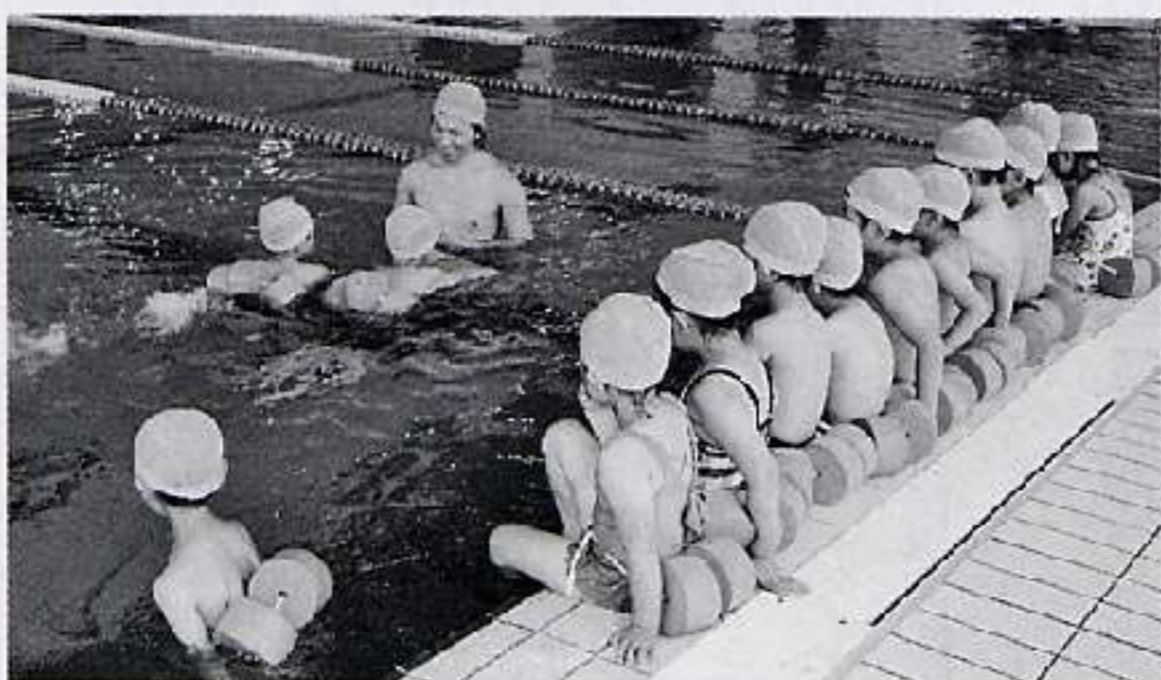
パークゴルフ場 八月二十三日オープン

本組合広域交流拠点施設（余熱利用施設）、愛称置賜スポーツ交流プラザ「湯るつと」は、五月一日に正式オープンしました。

利用者数は、みなさまのご理解、ご協力により、目標としている人数に届こうとしている状況で、五月、六月は、それぞれ六千人を超える方々にご利用いただいております。

開業して不慣れなこともあり、ご迷惑をお掛けしましたが、みなさまに愛され親しまれる施設となるよう指定管理者と協力しながら、今後の施設運営に努めていきたいと考えています。

なお、パークゴルフ場の開業時期は、多くの方から問い合わせをいただいておりますが、四、五月の降水量が少なかつたため、芝の生育が悪くオープンできませんでした。しかし、八月二十三日、日曜日からようやく開業になりますので、ご利用をお願いします。



ご利用の様子


指定ごみ袋が新しくなります

指定可燃ごみ袋  
(もえるもの)

証紙

地区名  氏名

捨てる前  
もう一度考えよう  
リサイクル



CRE8 (くりえいと)  
C [クリーン]   
R [リサイクル]   
E [アース (地球)]   
8 [置賜 三市五町]

(注意)  
この袋以外のごみは、収集しません。  
事業系ごみには、使用できません。

置賜広域行政事務組合  
米沢市 南陽市 高島町 川西町  
長井市 白鷹町 飯豊町 小国町

現行 (平袋タイプ)




指定可燃ごみ袋  
(もやせるもの)

証紙

地区名  氏名

捨てる前  
もう一度考えよう  
リサイクル



広告スペース

(注意)  
この袋以外のごみは、収集しません。  
事業系ごみには、使用できません。

置賜広域行政事務組合  
米沢市 南陽市 高島町 川西町  
長井市 白鷹町 飯豊町 小国町

改正後 (レジ袋タイプ)

現在の「ごみ袋も使えます

期限はありません

指定ごみ袋は、来年四月一日に切り替わりますが、ご家庭に残っている現在の「ごみ袋は、これまでと同様に使えます。

形が変わります

平袋からレジ袋へ

置賜三市五町では、平成十一年四月に指定ごみ袋によるごみの有料化を開始し、平袋タイプのごみ袋を採用しています。導入から十年がたち、住民の方から口が結びにくく持ちにくいという意見を多数いただいております。

そのため、本組合では置賜三市五町とともにごみ袋の形状について検討を行い、全種類の指定ごみ袋に「持ち手」と「マチ」を付け、簡単に結べて持ちやすいレジ袋タイプに改善することになりました。

なお、新しいごみ袋は、来年四月一日から販売します。

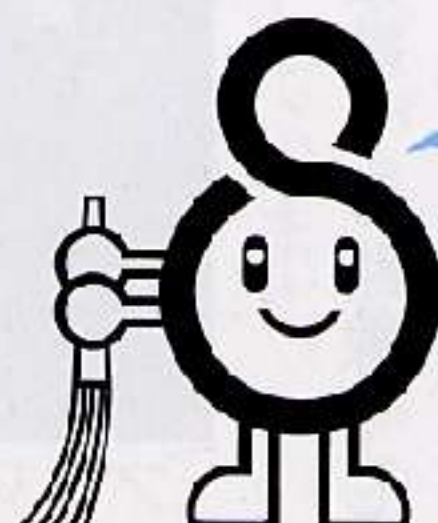
大きさと料金の改正

資源袋は料金据え置き

ごみ袋の大きさ見直しと、資源袋を除いたごみ袋の料金を左の表のとおり改正します。資源袋は、リサイクルの促進を図るため、袋は大きくなりますが、料金は据え置きとなります。

限りある資源を大切にするため、さらなるリサイクルへのご協力をお願いします。

資源袋	不燃ごみ袋		可燃ごみ袋		種類	現行 (平袋)	改正後 (レジ袋)
	小	大	小	大			
	21ℓ	36ℓ	21ℓ	36ℓ	14ℓ	25ℓ	袋容量
	25円	40円	25円	40円	25円	40円	料金
	30ℓ	45ℓ	30ℓ	45ℓ	20ℓ	30ℓ	袋容量
	25円	40円	35円	50円	35円	50円	料金



リサイクルで  
ごみを減らそう

指定ごみ袋に関する  
問い合わせ先

総務課施設係  
電話 0238(23)3246  
E-mail shisetsu@okikou.or.jp

# 置賜 再発見

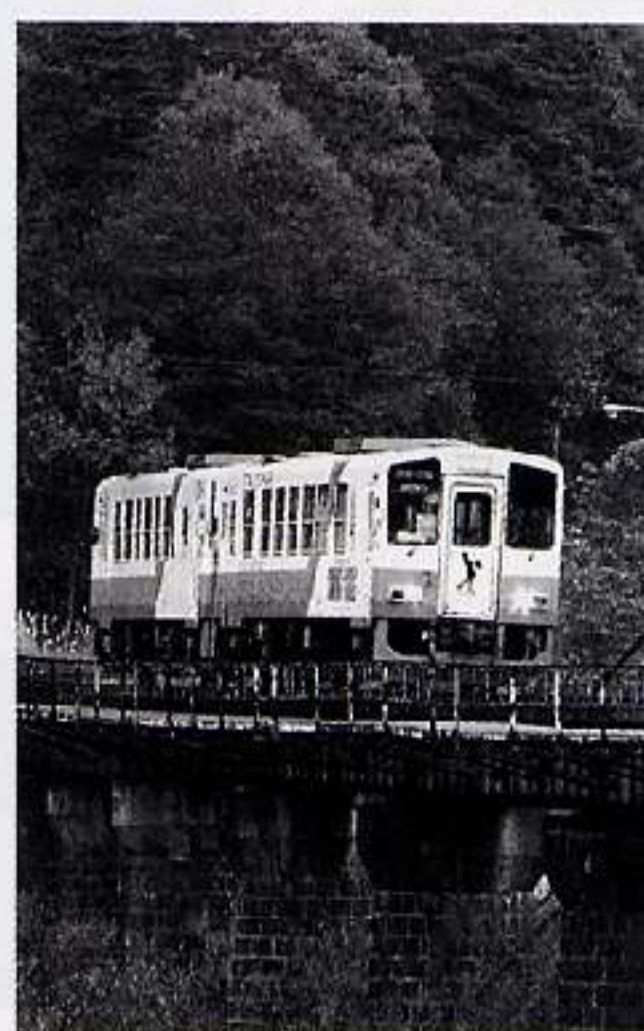
風俗 遺跡 史跡 自然 見  
郷土芸能 第13回

ふるさとへの心をよみがえらせる

次の世代に残したいもの  
いつまでも語り継がれていくもの  
家族や地域をつなげるきずな  
はじめて出会ってもなぜか懐かしさを感じる  
遠い記憶のどこかにある情景  
それは私たちの「ふるさと」にあります

## 米坂線

米沢と新潟県坂町を結ぶ羽越横断線（米坂線）は、大正十一年（一九二二）十月に起工されましたが、国の財政上の理由から、米沢と坂町間一線としてではなく、米沢と今泉間の今泉線と、今泉と坂町間の今坂線に分けて施工されました。今泉線は、同十五年九月二十八日に開通し、今坂線は昭和三年（一九二八）に起工して、同十一年八月に今泉線と連結し、起工以来一四年目にして全線開通となりました。



フラワーライナー

泉駅で米坂線と接続する路線でしたが、昭和六十三年（一九八八）に国鉄から第三セクターの山形鉄道株式会社へ移行し、名称も現在のフラワー長井線となりました。今でも通学などの重要な役割を果たす路線ですが、利用者は、少子化等により減少傾向にあるため、観光客向けの「方言ガイド（地元言葉で説明する）」等のツアー、つり革オーナーの募集や季節に応じたイベント等を行っています。また、キャラクターの愛称募集を8月末まで実施するそうです。

※国・地域の標準的な鉄道の規格よりも低い水準の規格で建設された鉄道

## 奥羽本線

本組合では、置賜圏域を活力に満ちた地域にしていくための事業として、3市5町と連携しながら「広域的交流活動の促進」や「広域的人材の育成」をテーマとしたソフト事業を実施しています。ここでは、その事業の一つである「ふるさと再発見事業」の一環として、置賜圏域ならではの地域資源をシリーズで紹介していきます。第十三回は「置賜の鉄道」です。歴史を振り返るとともに、先人の苦勞や喜びを感じてみましょう。

明治二十五年（一八九二）、「鉄道敷設法」が公布され、奥羽本線は、第一期路線として建設費一二二二万三七八円を投じ、青森と湯沢間を北線、湯沢と福島間を南線として、南線は同二十七年二月から工事を開始しました。南線のうち福島と米沢間の四一・一<sup>キ</sup>は、奥羽山脈を横断するため、



完成間際の橋梁

トンネルは大小一九〇か所、橋梁は三〇か所にのぼり、最長の板谷トンネルは、延長が一六二九メートルある難工事です。完成まで二年を費やしました。

福島と米沢間が開通したのは、起工から六年目の明治三十二年五月十五日でした。この日は、午前六時に福島駅を発車した列車が、同九時十五分、米沢駅に到着すると、市民の感激ぶりは大変なもので、地元新聞社が開通の様々を大々的に報じました。

以前は、米沢と福島間が栗子峠越えで丸一日の行程でしたが、開通によって約二時間半に短縮され、汽車は、その速さと運搬量の多さから、まさに置賜に新天地を開く乗り物となりました。

## フラワー長井線

置賜盆地を南北に走るこの路線は、赤湯と荒砥間の全長三〇・五<sup>キ</sup>を結んでいます。同線は、大正三年（一九一四）に長井駅までの軽便鉄道※として開通し、同十二年に荒砥駅まで全線開通しました。長井線は、赤湯駅で奥羽本線、今

## 高畠鉄道

糠ノ目駅（現高畠駅）は、明治三十三年（一九〇〇）四月に開業しましたが、当時、高畠では長谷川製糸場や阿羽製糸場のほか多くの製糸場が創業し、地場産業振興の意気の高まりや製品輸送に関心が集まるなか、高畠鉄道は、糠ノ目〜高畠間で大正十一年から営業運転を開始し、同十三年には二井宿まで開通しました。戦後も貨物輸送や沿線住民の足として活躍し、昭和二十八年（一九五三）には年間約六二万人（一日平均一七〇〇人）の乗客を運びました。しかし、自家用車の普及にともない、利用客も徐々に減少し、同四十九年十一月に営業を止め、五十年余の歴史に幕を下ろしました。

路線跡は「まほろばの緑道」と



旧米沢駅



旧赤湯駅



糠ノ目駅（現高畠駅）



旧高畠駅

取材のご協力及び写真を提供していただきました。ありがとうございます。

米沢市総合政策課、南陽市企画財政課、高畠町企画課、株式会社ヤマコー、山形鉄道株式会社

（参考文献）置賜ふるさと大百科

して生まれ変わり、元駅公園（旧高畠鉄道高畠駅跡）には、現在、電気機関車・貨車・客車各一両が静態保存されています。



高畠鉄道機関車

## 山形新幹線

平成四年（一九九二）七月、新幹線を直接在来線に乗り入れるという全国初のミニ新幹線方式の山形新幹線が開通しました。ミニ新幹線方式は、福島〜山形間がモデ

ル地区として、昭和六三年からレール幅を在来線の一〇六七ミリから新幹線の標準軌間一四三五ミリに付け替える工事や、踏切・ホームの改良、板谷・峠・大沢駅のスイッチバック※を廃止する工事が行われました。建設費は、三一八億円を投じましたが、従来のフル規格の新幹線と比較すると約一〇分の一の費用で完成しました。

車両は、新型四〇〇系が採用され、踏切などがある福島〜山形間は時速一三〇キロ、福島〜東京間は時速二四〇キロの最高速度で運行し、さらに福島駅での乗り換えがなくなったことで、米沢〜東京間は最短で二時間二分で結ばれました。

また、山形新幹線の開通にあわせ、米沢駅は旧米沢高等工業学校本館（重要文化財）をモチーフにした洋風建築、高畠駅は童話をイ



新幹線つばさ

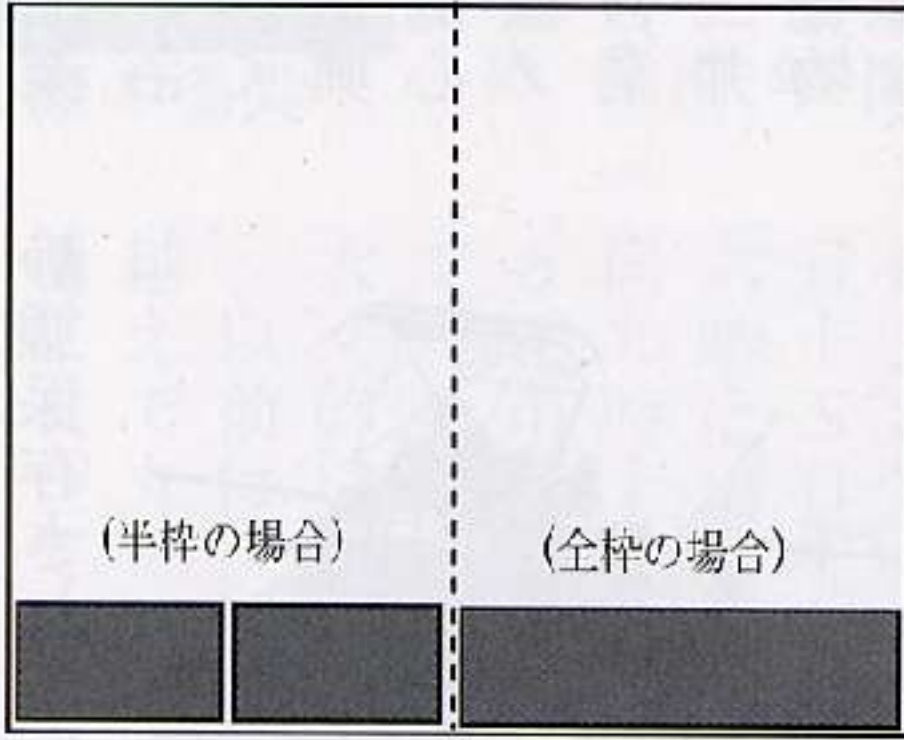

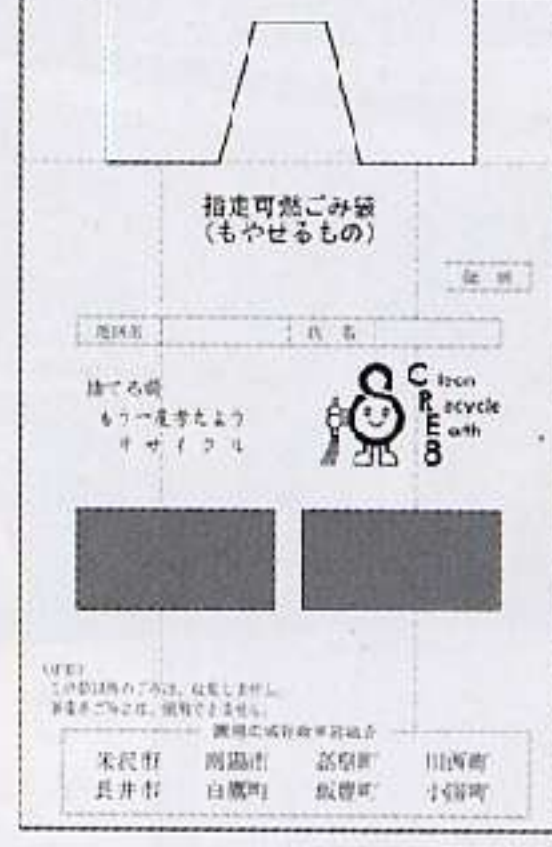
メージしたメルヘンチックな城、赤湯駅はパラグライダーをイメージしたモダンな駅舎へと、それぞれの地域の特色が反映されています。

山形新幹線は、平成十一年に三五一億円をかけて新庄まで延伸するとともに、新たにE3系の車両が導入され、文字どおり山形県の大動脈として活躍しています。

※停車した時に一旦バックして、加速をつけて急勾配を登るための施設

# ごみ袋・広報紙・HPの広告主を募集します

置賜広域行政事務組合では、新たな財源の確保と地域経済の活性化を目的に、有料広告の掲載を募集します。ぜひご活用ください。

区分	広域広報おきたま	組合ホームページ	組合指定ごみ袋
広告媒体の概要・イメージ図	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年2回(8/15、1/15)発行(次回は平成22年1月15日号)</li> <li>・置賜地区全世帯配布(約74,000部発行)</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・月平均アクセス数 = 2,000件</li> <li>・毎月1日～末日の1ヶ月単位で掲載</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指定ごみ袋のうち、可燃ごみ袋(大)</li> <li>・来年4月1日のごみ袋の形式変更にあわせて掲載開始</li> <li>・1回の製作枚数= 2,500,000枚</li> <li>・製作は年2回</li> </ul> 
	<b>大きさ(枠数)色</b> (半枠) 縦4.2cm×横8.5cm (全枠) 縦4.2cm×横17cm 2色刷(シアン(青)かマゼンタ(赤)+黒)	縦60ピクセル×横150ピクセル×5枠	縦7cm×横14cm×2枠 赤1色刷
	<b>料金</b> 1枠1回あたり (半枠) 12,000円 (全枠) 20,000円	1枠1ヶ月あたり2,000円	1枠1回あたり100,000円

～おおまかな広告掲載の流れは次のとおりです～

- 1 所定の申込書に広告案を添付してお申し込みください。  
・掲載枠には限りがありますので、掲載できない場合があります。
- 2 広告案の内容を審査します。本組合が定める基準に違反する広告は掲載できません。
- 3 掲載可能な場合は、掲載料を前納していただきます。  
(納入された掲載料は原則として還付いたしません。)
- 4 広告の原稿を電子データにより提出いただきます。  
・原稿は広告主の方に作成いただきます。  
・原稿の作成経費は広告主の方の負担です。  
・広告の掲載位置(上下・左右等)は指定できません。

《問い合わせ先》 総務課庶務係 電話 0238(23)3246

※詳しいことは、近日中にホームページに掲載します。  
<http://www.okikou.or.jp>

## くりえいと工房 再生品提供のお知らせ

### ■開館時間

午前9:00～午後4:00

### ■休館日

- ・4～12月 日曜日、祝祭日
- ・1～3月 土曜日、日曜日、祝祭日
- ・年末年始 12月29日～1月3日

### 【再生品申し込み日程(年4回を予定)】

- ◆第3回 8・9月期  
展示期間 8月4日(火)～9月5日(土)  
抽選日 9月8日(火) 午前10時より  
引取期限 9月19日(土)
- ◆第4回 10・11・12月期  
展示期間 10月14日(水)～12月5日(土)  
抽選日 12月8日(火) 午前10時より  
引取期限 12月19日(土)

### 問い合わせ先

千代田クリーンセンター施設第2係  
電話 0238(57)4004

「湯るっと」は、ごみ焼却による余熱利用(ごみ発電の電気供給)を体感してもらうことや、千代田クリーンセンター内の「くりえいと工房」と一緒に、環境教育に役立つことを目指しています。

「くりえいと工房」は、ごみの排出抑制、再利用及び再生利用(リサイクル)を学び、ごみ減量の大切さを情報発信する施設として、平成14年に開設されました。

クリーンセンターには、多くの自転車や家具が粗大ごみとして持ち込まれますが、「くりえいと工房」では、これらと置賜の住民に無料で提供しています。

「湯るっと」をご利用の皆さんには、ぜひ隣の千代田クリーンセンター展示場まで足を運び、展示品をご覧ください。



## くりえいと工房



# おきたまごよみ 8月～22年1月

## 8月(葉月)

- 5日～17日 ダリヤ園ライトアップ(川西ダリヤ園)
- 22日 フレンドリークラシック2009(フレンドリープラザ)
- 28日 第34回ワインフェスティバル(ハイジアパーク南陽)

## 9月(長月)

- 5日 米沢市市制施行120周年記念式典・アツキョコンサート(伝国の杜 置賜文化ホール)
- 5日 地酒と黒べこまつり(川西ダリヤ園)
- 5日 いいで”めざみの里まつり”2009(町民総合センター「あ～す」)
- 12日～13日 赤湯温泉ふるさと祭り(赤湯温泉通り)
- 13日 第12回ダリヤカップMTB大会(川西ダリヤ園周辺)
- 19日～21日 第56回東北ダリヤ名花展(川西ダリヤ園)
- 20日 第60回高島ロードレース兼まほろばマラソン大会(高島町役場庁舎前)
- 21日 “ひょっこりひょうたん島を歌うbyゴスペルオーブコンサート”(フレンドリープラザ)
- 22日 安久津八幡神社流鏝馬奉納(高島町安久津八幡神社)
- 26日～27日 2009スカイフェスティバルin南陽・パラグライディング大会(南陽スカイパーク)
- 27日 大河ドラマ「天地人」記念・全国まちづくりシンポジウム(伝国の杜 置賜文化ホール)

## 10月(神無月)

- 4日 市立米沢図書館開館百周年記念講演会(講師:小和田哲男氏)(置賜総合文化センター1階ホール)
- 4日 夕鶴の里民話まつり(夕鶴の里)
- 4日 コラール・ド・めざみ定期演奏会(町民総合センター「あ～す」)
- 9日～12日 高島ワイナリー秋の収穫祭(高島ワイナリー)
- 9日～11月8日 南陽の菊まつり(双松公園)
- 10日 夫婦印プロデュース『月夜の告白』(フレンドリープラザ)

## (10月の続き)

- 10日～11日 ひろすけ祭(浜田広介記念館)
- 10日～12日 かわにしの秋祭り(川西ダリヤ園)
- 10日～12日 よねおり観光センター秋のふれあい市(よねおり観光センター)
- 11日 縄文まつり(長井市古代の丘)
- 11日～12日 わくわく感謝フェア(高島町太陽館)
- 17日～25日 第3回秋山庄太郎記念米沢市写真文化賞受賞作品展(伝国の杜)
- 18日 長井マラソン大会(置賜生涯学習プラザ)
- 25日 飯豊連峰紅葉ジョギング大会(飯豊町旧小玉川小中学校)
- 25日 黒沢峠まつり(小国町黒沢峠)

## 11月(霜月)

- 1日 第48回全日本50km競歩高島大会(高島まほろば競歩コース)
- 1日・2日 こまつ座 井上ひさし作『組曲 虐殺』(フレンドリープラザ)
- 2日・3日 小国町文化祭(町民総合体育館他)
- 3日 ダリヤ切り花収穫デー(川西ダリヤ園)
- 3日 いいで秋の収穫祭(町民総合センター「あ～す」)
- 7日 置賜地域男女共同参画講座 in よねざわ09(置賜総合文化センター1階ホール)
- 8日・9日 新しい「過疎」の姿を探るシンポジウム(飯豊町旧小玉川小中学校)
- 上旬 たかはた秋まつり「高島町芸術文化祭・展示祭」(高島町役場庁舎前ほか)
- 上旬 ヌーボーフェスティバル「音楽と和飲の夕べ」(南陽市えくぼプラザ)
- 14日 南陽市農業祭「秋の収穫感謝祭」(JA山形おきたま愛菜館前広場)
- 21日 めざみの里音楽祭(町民総合センター「あ～す」)

## 12月(師走)

## 2010年(平成22年)1月(睦月)

- 1日 元旦マラソン(川西町町民総合体育館周辺)
- 17日 たかはた冬まつり「大日如来わらじみこしまつり」(高島昭和縁結び通り・まほろば通り)

### ～ 議会2月定例会・6月臨時会を開催しました ～

2/24に行われた定例会では、条例改正1件、平成21年度予算ほかの議案が原案どおり可決されました。また、6/4に行われた臨時会では、議長及び副議長の選挙が行われ、議長に船山仁氏(白鷹町)、副議長に伊藤俊美氏(南陽市)がそれぞれ決まったほか、議会選出の監査委員には遠藤宏三氏(米沢市)が決まりました。また、千代田クリーンセンターごみ焼却施設建設に係る損害賠償訴訟提起ほかの議案が原案どおり承認、可決されました。

議会の会議録は本組合ホームページでご覧になれます。

<http://www.okikou.or.jp/syomu/gikai/gikaitop.htm>

# おたまたニュース～置賜各市町より～

## 直江兼続と前田慶次の史跡を巡る観光バスツアー「かねたん号」

7月18日～11月23日までの土日祝日 全45日間 限定運行

各回 先着25名様限定・完全予約制 大人2000円、小中生1800円

【乗車】米沢駅13:30・伝国の杜東側県道13:45→林泉寺→直江石堤→堂森善光寺→宮坂考古館→【降車】米沢駅16:10・伝国の杜東側県道16:25

観光ガイド付、傷害保険付、参拝料・入館料込み

【申込先】

●事前予約受付（平日のみ・金曜日3時〆切）

ジェイツアーズ 電話0238-36-1080 FAX0238-36-1081

●当日予約受付（土日祝日のみ・当日正午〆切）

伝国の杜・山形県総合観光案内所 電話090-4633-1285

米沢市企画調整部総合政策課天地人推進室

TEL:0238-22-5111 FAX:0238-24-4541

E-mail tenchijin@city.yonezawa.yamagata.jp



## 川西ダリヤ園 開園

8月1日、川西町の「川西ダリヤ園」がオープンしました。開園期間中は色とりどりに咲く650種50,000本のダリヤで皆さんをお出迎えます。今年は新たに「天地人コーナー」を園内に設けました。関連イベントも満載ですので、ぜひダリヤ園にお越しください。

●開園期間8月1日～11月3日

●開園時間9:00～18:00

（10月からは日没時点で閉園）

●料金 大人520円 小人210円

【お問い合わせ】

川西町観光協会

TEL:0238-42-2112

## 安久津八幡神社 秋祭り

◎9月15日(火)10時～

国指定無形文化財になっている一社相伝の稚児舞(延年の舞)が舞楽殿にて奉納されます。延年の舞は平安末期から鎌倉時代にかけて、東大寺等で大法会の後の余興や貴客接待に舞った芸能で、安久津八幡神社では「振鉾式、三体舞、拝舞、眺望楽、太平楽、蛇取舞」等があります。



【お問い合わせ】

安久津八幡神社

TEL:0238-52-5990

## 第10回記念 南陽さわやかマラソン大会



【招待選手：有森裕子さん】

【お問い合わせ】

南陽市民体育館内南陽さわやかマラソン大会実行委員会

TEL:0238-49-2600 FAX:0238-49-2610

第10回記念大会の開催にあたり、オリンピック（バルセロナ・アトランタ）女子マラソン2大会連続メダリスト有森裕子さんを招聘し、子供から大人までが一同に楽しく走ることによって、スポーツに親しみ、これを契機とした生涯スポーツの振興と健康体力づくりを推進することを目的とした大会です。ぜひ多勢のご参加お待ちしております。

〈参加申込期間〉平成21年7月16日(木)～9月11日(金)午後5時まで

〈マラソン大会〉平成21年10月12日(月) (雨天決行)

## 市民憲章運動推進第44回全国大会～米沢大会～

おもいやり「愛」があふれるまちづくりをメインテーマに10月2、3、4日と伝国の杜などを会場に行われます。3日には、市内で待ちづくり活動をしている団体の事例発表会や、ダニエル・カール氏をお招きし「人のつながり ふるさどってすばらしい」と題した記念講演会も開催されます。

【お問い合わせ】

米沢市秘書広報課広報広聴係 TEL:0238-22-5111

Hisyo-ka@city.yonezawa.yamagata.jp

## 第33回白鷹鮎まつり (9月19日～23日)

9月、白鷹の観光ヤナ場は、落ち鮎シーズン到来！一雨ごとに鮎がヤナに掛かり、時には数百匹が一度に掛かる事も！白波をたて簾に鮎が掛かる躍動感。ヤナ場で鮎を手づかみ出来る感動。どうやら今年も豊作が見込めそうですよ！また、同時開催で「しらたか工芸体験まつり」(20日、21日)を開催します。

ぜひ、秋の白鷹を満喫ください。

【お問い合わせ】

白鷹町観光協会 TEL:0238-86-0086

## 2009年 最上川さくら回廊事業



昨年に引き続き、置賜スポーツ交流プラザ「湯るっ」との敷地内に、桜を20本植樹しますので、その参加者を募集しています。応募締め切りは8月27日(木)となっておりますので、詳しいことは以下のお問い合わせ先にご連絡ください。

【応募先・お問い合わせ】

山形新聞社編集局 TEL:023-622-5271 (内線 3337)

広域広報 **おたまた** へのご意見・ご感想

〒992-0012

山形県米沢市金池三丁目1番55号

置賜広域行政事務組合 総務課企画係

電話:0238-23-3246

FAX:0238-24-4659

E-mail kikaku@okikou.or.jp



地球にやさしい植物性インクを使用しています。